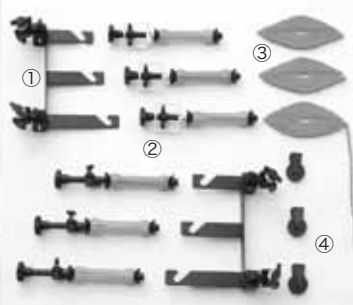
MF-370E3S　３連エキスパン付きマンフロットオートポールセット　取扱説明書

この度は「MF-370E3S　3 連エキスパン付きマンフロットオートポールセット」をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。この説明書をご覧になり、末永くご愛用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■製品内容

●オートポール　２本
●プロクランプ付きエキスパン３連セット
①3 連用プロクランプフック２個
②エキスパン１本用３組
③チェーン３本
④おもり３個
●マンフロットオートポール専用水準器

■特徴

オートポールとは１本の伸び縮みする棒のことです。通常２本一組で、主な使用例としてはエキスパンセット等を装着してロール紙をセットするものです。バックグランドサポートのようにスタンドを広げる足場が必要ないことから、狭い空間で重宝する製品です。背景をセットする以外にもスタンド代わりにライトヘッドを装着したり、天井の梁と梁の間にセットし上方からライティングする等、使い方は色々です。伸縮サイズは 210cm ～ 370cm。レバーを引き上げるとロックが解除され上段のポールが自由に上下します。伸び縮みする際のテンションを利用して床と天井、梁と梁等に固定されます。

オートポール仕様

●伸長：210～370cm
●ポール径：40mm（上段）
　　　　　45mm（下段）
●重量：2.1kg（1 本）
●材質：アルミ

レバーについて

赤いボタンを押しながらレバーを引き上げます。

ポールを伸ばし、天井や壁（梁）に突っ張ります。

レバーを下げてロックします。

★上段ポールが最大に伸びている場合はロックできません。（レバーが下がらない）最大より 5cm 以上下げた位置でロックしてください。
★横使いでの耐荷重 :10kg（長さや壁等の材質により異なります。

■プロクランプ付きエキスパン三連セットを取付けます。

※注意書きを読み、別紙ご参照ください。

本格的なスタジオ撮影に対応できるエキスパン３連セット。壁等に設置するタイプに加えて、オートポール等に固定できるプロクランプ付きのモデルです。設置、撤収いづれも手早く作業が完了し、また半常設で使用する事も可能です。

ロール紙がまっすぐな状態でスムーズにチェーンが回る事を確認し、チェーンに負荷がないような状況でお使いください。また、常時設置の場合は適時回転させ、ロール紙そのものに「たわみ」が発生しない状態でご使用ください。｢たわみ｣があったり､装着が不十分な場合､チェーンを回しているとある時点で｢ガクン｣とショックが発生します。その場合は、無理に回さずにロール紙とエキスパンが水平になっているか再度状況を確認し、正しく設置し直して下さい。

Professional Photo Equipment
PROKIZAI.COM

20120802

MF-370E3S　3連エキスパン付きマンフロットオートポールセット　セッティング方法

❶　オートポール最上部に3連エキスパンセットのベースを装着します。2本とも同じ位置にセットしてください。

❷　水準器を確認しながら1本目のオートポールを垂直に立てます。※釣り天井等では、天井が浮く場合があるので注意してください。

❸　幅を確認して2本目を立てます。(2,7m幅のロール紙をセットする場合、ポール間隔はおおよそ285cmとなります)

❹　ロール紙にエキスパンをセットします。エキスパンをロール紙の芯に差し込み、ハンドルを回していくと内部が膨らみ固定できます。※稀に空回りして内部が膨らまない場合があります。その際は一旦芯から抜き、エンド部分を押さえながらハンドルを回して動作確認してください。

❺　エキスパンをベースフックに掛けてセットします。エキスパンの溝は2カ所ありますが、チェーンが枠に触れない方向にセットします。

※受け側の蝶ネジを緩めるとベース部分とエキスパンの位置が微調整できます。

❻　チェーンをエキスパンのギヤに通し、ウエイトを付けて連結します。※ある程度の長さが垂れ下がらないとチェーンでの昇降が出来ない場合があります。

❼　2本目、3本目も同様に取付けます。チェーンを引っ張ってロール紙を昇降させます。